



大 輪

発行: 島根県社会福祉協議会内
 島根県知的障害者施設保護者会連合会
 松江市東津田町 1741-3
 いきいきプラザ島根 5
 TEL 0852-32-5976 FAX 0852-32-5982

VOL. 48

令和 2 年 7 月発行

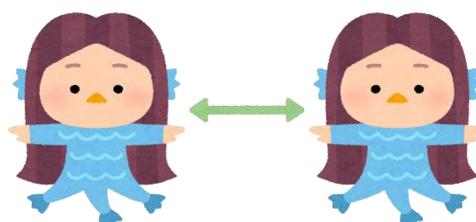
新型コロナウイルス

島根県知的障害者施設保護者会連合会運営委員 串崎 昭徳

ここ数ヶ月『新型コロナウイルス』という言葉を目にしない日はありません。オリンピックをはじめ、高校野球など、大きな行事も延期や中止を余儀なくされています。生活においても、外出自粛、営業自粛、自宅でリモートワークをするなど、このような事態を誰も想像できなかったのではないのでしょうか。

各施設におかれましても、新型コロナウイルス対策をされていると思います。島根整肢学園では、職員、スタッフ全員がコロナを持ち込まない、うつさない、という気持ちで日々仕事をされています。原則として県外への移動はせず、やむをえず移動した場合は、二週間自宅待機となります。当然三密は避け、車で出かける時の食事も、食堂を避ける等、細かく対策をとっています。島根整肢学園には病院もありますが、外来担当の看護師・スタッフと、整肢学園入所担当の看護師・スタッフは仕事に接点がないよう行動します。また、予防の第一段階として、とにかく外部からウイルスを持ち込まないようにするために、2月の下旬から面会は中止となりました。ただ、感染拡大が抑えられつつある現状に加えて、親御さんのお気持ちも考え、6月にはいつから、面会が再開されています。もちろん面会には許可される基準があり、健康状態が良好であること、直近2週間以内で外国や新規感染者が発生している都道府県圏域に行っていないこと、直近2週間以内で3密行動をしていない（飲食店、スポーツジム）、などの場合に限りです。また、面会には予約が必要で、1日2組、週に3日、時間は20分以内、となります。

新型コロナウイルスは世界的な広がりを見せています。私たちの生活習慣も、前とは違うものとなるかもしれません。以前と変わらない生活に戻ることができるような、良いワクチン、特效薬がいつできるのかが分からないなか、少なくともこれからしばらくは、新型コロナウイルスとともに生活をしていかざるを得ないでしょう。第二次世界大戦以来の最大の試練ともいわれるこの危機を、一人ひとりが真剣に受けとめ、責任ある行動、拡大防止に努めていくことが大切だと思います。



(ソーシャルディスタンスを保って立つアマビエ)

令和2年度島根県知的障害者施設保護者会連合会事業計画

1 基本方針

障がい福祉サービスの制度は、措置制度から支援費制度へ、そしてまた、障害者自立支援法から障害者総合支援法へと近年めまぐるしく変化しています。しかし、どのような制度環境になろうと、私たちは「我が子・兄弟・姉妹のあたりまえで幸せな暮らし」を願っています。

本会は、「我が子・兄弟・姉妹」の保護者で組織される団体として、障がい福祉サービスや社会保障制度の充実に向け、全国知的障害者施設家族会連合会（全施連）に参画する一員として、関係機関や団体等と手を携えながら、次の方針で運動展開してまいります。

○全施連の発刊した提言Ⅱ「地域共生ホーム」の活用を活動の柱と位置づけ、諸活動に取り組んでいきます。

○昨年度の理事会にて、財政基盤の確立を図るとの考え方から、会費値上げの承認を得た経緯を踏まえ、財政運営の見直しをはかり、将来にわたって安定した組織運営をめざした対応に努めていきます。

2 事業の推進

(1) 政策提言・要望活動の実施

- ① 全施連提言Ⅱ「地域共生ホーム」等を踏まえ、県知事への要望書を提出するにあたり、県の関係課との意見交換の場を持ち、本会が求める障がい者福祉への理解を促すとともに、県の障がい者政策の動向やその推進状況等の情報を得る機会とする。
- ② 地区懇談会等で提起された諸課題、要望事項等に関わる解決、改善に向けた諸活動。
- ③ 関係団体との連携による活動（請願・署名活動など）

(2) 研修事業の実施

内容：「地域共生ホーム」を用いての学習会

講師：北九州大学 小賀久教授（全施連顧問）

東部会場：松江市内（時期は未定）

西部会場：浜田市内（時期は未定）

(3) 地区懇談会の実施

内容：東部、中部、西部の各ブロックで情報伝達と意見交換を行う。

場所：県内3か所の会場 年2回程度開催

(4) 広報紙の発行

会員に対しての情報提供や会員相互の交流を目的として広報紙『大輪』を発行する。

発行回数：年3回（6月、9月、1月）

(5) しまね県民福祉大会の開催

内容：島根県知的障害者施設保護者会連合会会長表彰の実施

時期：10月17日（土）

会場：島根県民会館 中ホール

講演：“がんばらない”けど“あきらめない”～命を支えるということ～

講師 鎌田實（長野県 諏訪中央病院 名誉院長）

(6) 全国知的障害者施設家族会連合会との連携

- ① 理事会（総会） 年3回（予定）⇒第1回理事会（6月）は書面審議
 - ② 全国大会 10月21日（水）～22日（木） 熊本県 ⇒開催中止
 - ③ 「地域共生ホーム」についての研修会講師派遣
 - ④ 東京研修会への参加
-

(7) 島根県社会福祉団体連絡協議会との連携

政策提言活動への参画

3 会の運営

- (1) 監査会の開催 (5月)
- (2) 理事会の開催 (6月) ⇒書面審議
- (3) 運営委員会の開催 (年4回: 5月、8月、12月、3月)

4 関係団体との連絡協調

- (1) 島根県社会福祉協議会関係事業への参加、協力
 - ・あいサポート運動推進事業
 - ・障がい者アート推進事業
- (2) 知的障害者福祉協会関係事業への参加、協力
 - ・第61回中国・四国地区知的障害関係 職員研究協議会
7月9日(木)～10日(金) 高知県 ⇒来年度へ延期
 - ・全国知的障害福祉関係職員研究大会
9月23日(水)～24日(木) 京都府 ⇒来年度へ延期
 - ・月刊誌「さぽーと」の購読紹介
- (3) 手をつなぐ育成会関係事業への参加、協力
 - ・第7回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会愛媛大会
(第9回手をつなぐ育成会「中国・四国大会」併催)
10月3日(土)～4日(日) 愛媛県 ⇒開催中止
 - ・島根県手をつなぐ育成会研修会 (詳細未定)
 - ・機関紙「手をつなぐ」の購読紹介



2020年度第16回全国知的障害者施設家族会連合会全国大会 in 熊本 大会中止のお知らせ

2020年10月21日(水)、22日(木)に予定しておりました第16回全国知的障害者施設家族会連合会全国大会 in 熊本は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、参加される方の健康と安全を考慮し、中止となりました。

WHO 新型コロナウイルスアウトブレイク中の障がいにおける懸念事項 (抜粋)

家族や介護者の心身の健康に関して

家族や介助者の全員がCOVID-19に罹患しないよう、基本的予防対策を確実に行うよう確認する。

障がいのある児童においては、電話やメール、SNSを用いて、遊びや、読書、勉強や友人との関わりが継続できるよう奨励する。

もし家族の誰かがウイルス感染の症状を呈している場合には、該当者を隔離し、マスクを着用したうえで、できるだけ早急に検査を受けられるようにしなければならない。全ての物品の表面を消毒し、家族全員に症状がないかモニターする必要がある。可能であれば、既往のある人や免疫力の低下した人は、隔離期間が終了するまで、別の場所に移動しておくが良い。

令和2年度・3年度島根県知的障害者施設保護者会連合会 新役員名簿

役 職	氏 名	施設保護者会
会 長 (運営委員)	福間 廣明	太陽の里家族会
副会長 (運営委員)	山根 良雄	まがたま家族会
副会長 (運営委員)	山内 義隆	光風園家族会
副会長 (運営委員)	美濃地 淳二	希望の里保護者会
運営委員	栗原 亨吉	四ッ葉園保護者会
運営委員	三島 昇治	しのめ寮保護者会
運営委員	串崎 昭徳	せいあん会
運営委員	福間 正人	清風園家族会
運営委員	青木 裕志	島根県社会福祉協議会 常務理事
監 事	原 健治	仁寿会家族会
監 事	高野 啓子	愛光園信和会

お知らせ 私たちの思いがついに本になりました！

地域共生ホーム

—知的障害のある人のこれからの住まいと暮らし—

新しい生活施設のあり方に関する提言 —家族が求める暮らしの在り方—
親の思いを社会に届けたい

全国知的障害者施設家族会連合会 編著 A5判・約 290 頁

☆会員価格 1,620 円(税込み) ☆ご購入希望の方は事務局まで

編集後記

令和2年4月1日付けの県社会福祉協議会の人事異動により、県知的障害者施設保護者会連合会と東部・西部知的障害者施設利用者互助会の事務局長、事務局次長、事務職員3人すべて新たに着任しました。

事務局長 (地域福祉部長) 石出 高士

事務局次長 (地域福祉部障がい者福祉係長) 樋原 敬士

事務局員 (地域福祉部障がい者福祉係嘱託職員) 江角真由美

どうぞよろしくお願いいたします。

3月から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行事が中止、延期、書面審議となり、事務所内業務が増えました。全施連の全国大会in熊本も4月早々には中止が決定されました。6月から徐々に緩和されてはいるものの研修会講師の北九州大学の小賀教授…いついらしていただけるのか…

いずれにしてもこのコロナ禍、早く終息しますように。

